

ウクライナの建築資材・建設セクターへの投資機会

日本貿易振興機構（ジェトロ）

2026年1月

ウクライナの建設部門

マクロ経済の観点から

建築部門の就業人口

2024年現在、ウクライナ全人口の**1.7%**が建設部門に従事。

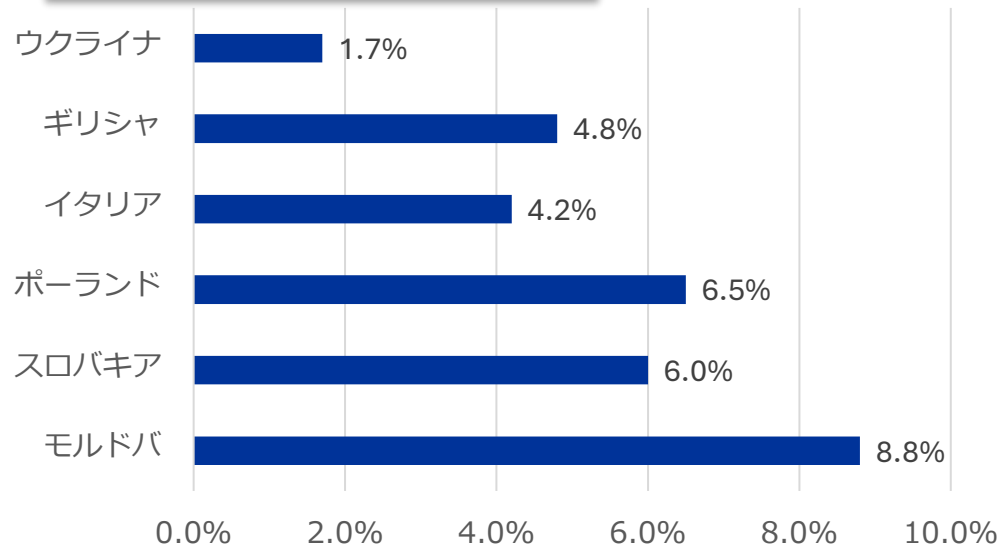
建設部門の市場規模

2023年 36億8000万ユーロ →
2024年 46億ユーロ (**20%増**)*

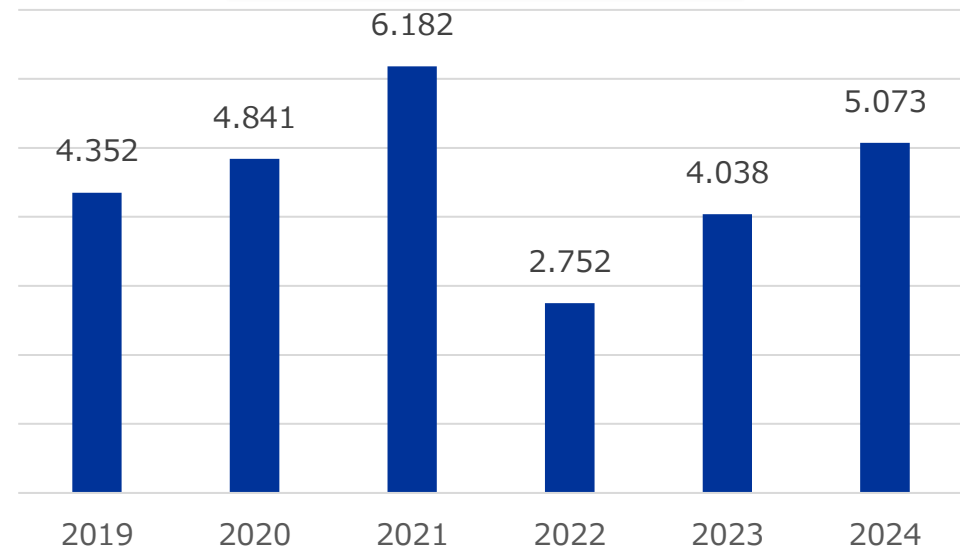
ウクライナ建設部門の特徴

インフラ復興需要(市場の約20%)を支える重点セグメント*

国のGDPに占める建設業の割合(2024年)



建設資材の年間生産量 (10億米ドル)



ウクライナの建設部門

外国直接投資(FDI)スナップショット

製造業におけるFDI残高（抜粋）及び建設関連加工産業総生産（百万米ドル）



2024年には、鉱業総売上高の71.6%に相当する2兆6,186億フリヴニャ（UAH）が採掘・加工産業の製品によって占められた。2024年12月時点の採掘・加工産業の製品の売上高指数は、2023年12月と比較して120.0%に達した。

1 | ウクライナの建設部門

外国直接投資(FDI)スナップショット

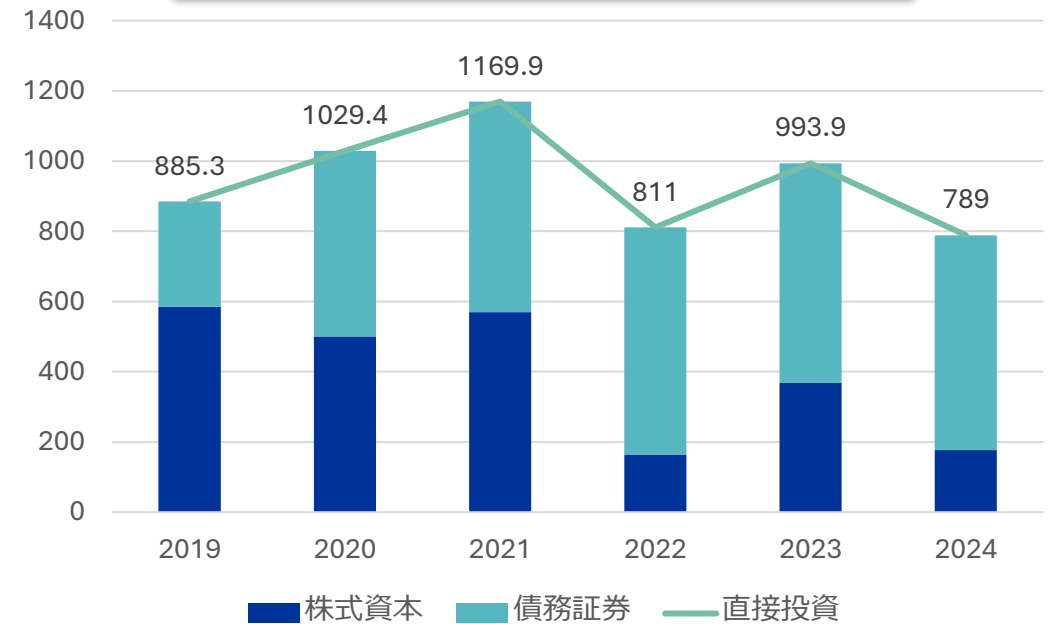
建設部門はウクライナの産業別外国直接投資（FDI）リストの**第9位**にランクされている。

2022年のロシアによるウクライナ全面侵攻以降、一時的に外国直接投資（FDI）も落ち込んだが、2023年には、既に回復傾向を示している。

戦争リスク保険の整備や投資環境の改善を目的とした政府の政策が、業界の成長回復に寄与したものと考えられる。

2023年の建設への直接投資（フロー）＝**1,410万ドル**が2024年には**2億210万ドル**に拡大！
2025年の最初の2四半期のFDIは**1,260万ドル**。

建設部門のFDI残高（百万米ドル）

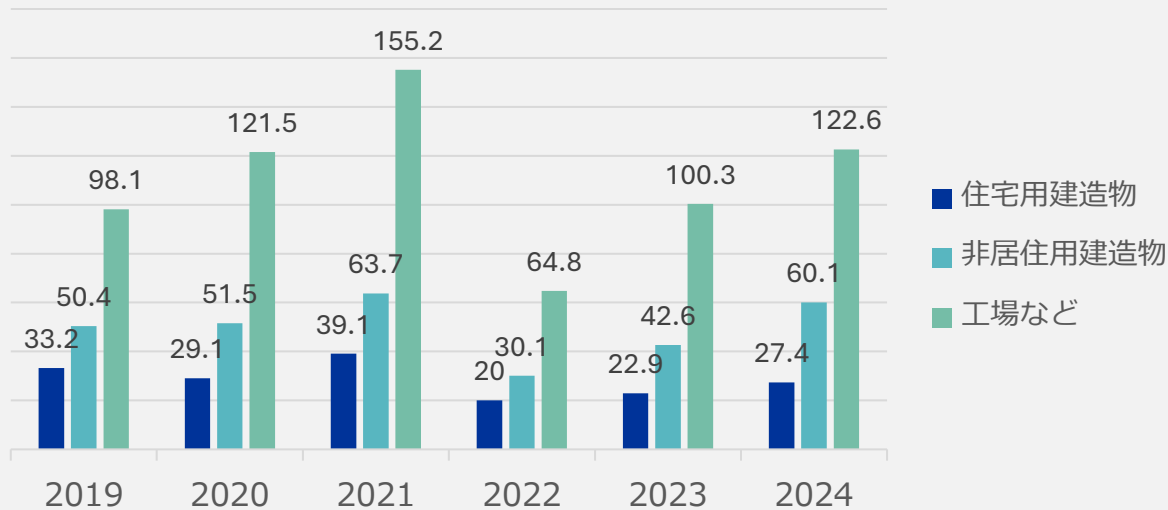


1 | ウクライナの建設部門

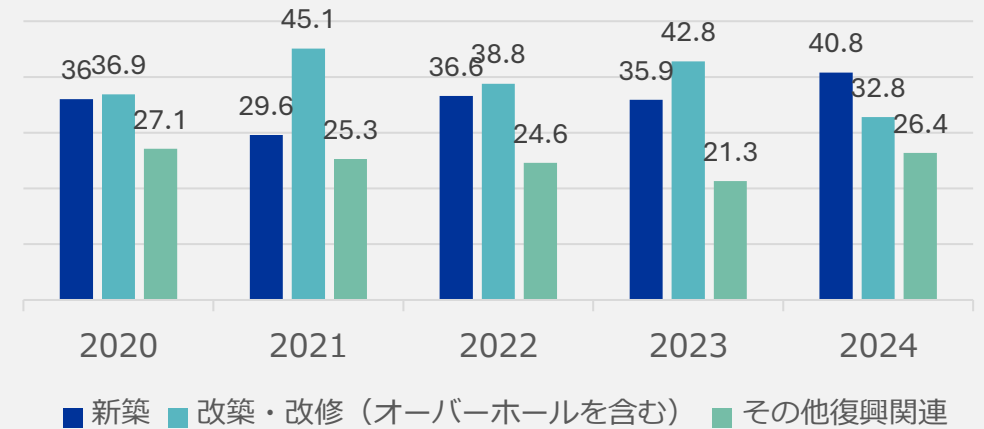
損失と損害

2020年当時、自己の居住財産を所有していなかったウクライナ人は、人口の14.4%に相当する600万人だったが、ロシアによる本格的侵攻の結果、さらに、約500万人が居住財産を失っている。これにより、現在の住宅需要は、非常に高い。

ウクライナにおける建造物の種類別建設量
2019年～2024年上半期、10億UAH



建設ニーズの種別とその変化、%（2020～2024年）



国内インフラ施設等の損傷・破壊状況
（総額1700億ドル、2024年11月）*

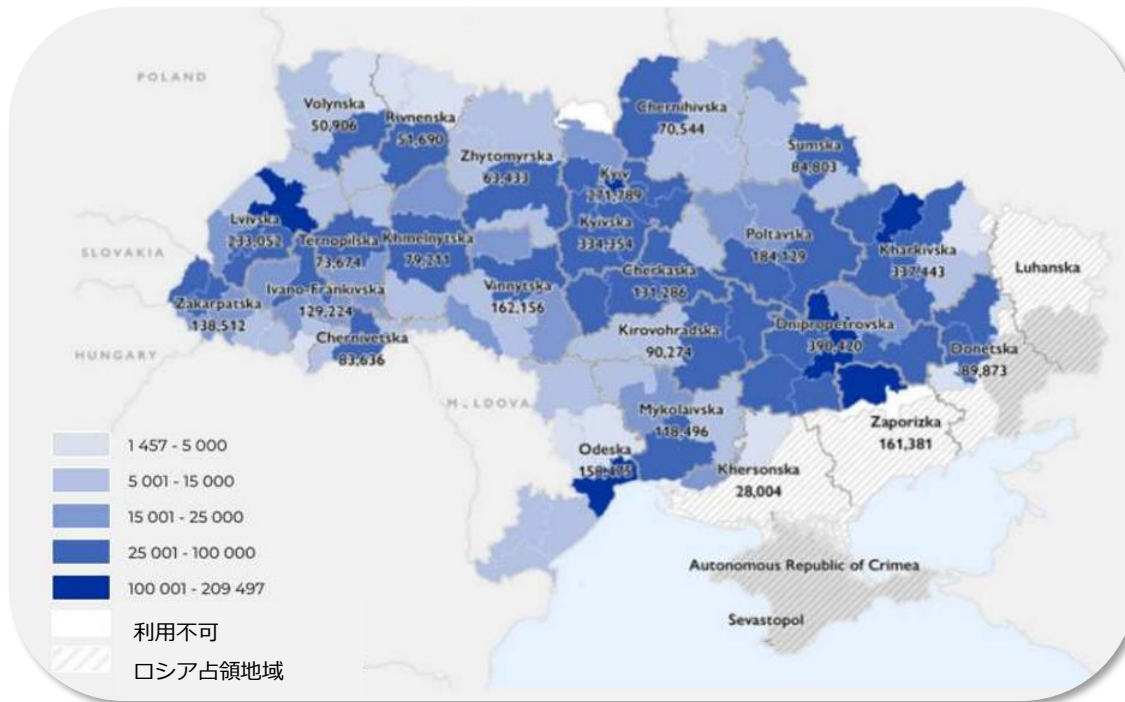
・ 住宅用建築物	250,000件
・ 乗用車	211,700件
・ 公共交通機関	16,000件
・ 教育機関	3,800件
・ 医療機関	1,300件
・ 民間/国営企業	426件

1 | ウクライナの建設部門

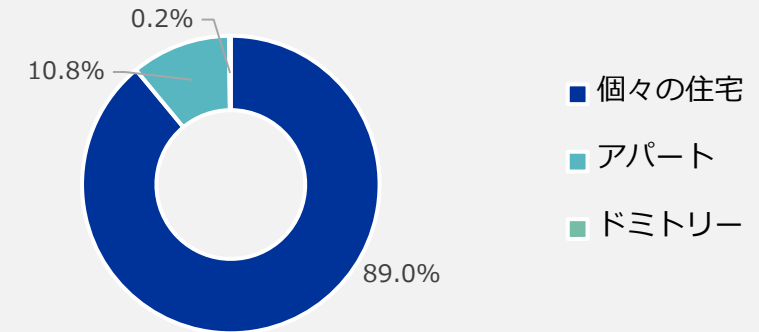
損失と損害 (KSE, 2024年2月29日)

国内避難民は**340万人**に達しており、地域別にみると以下の通り。

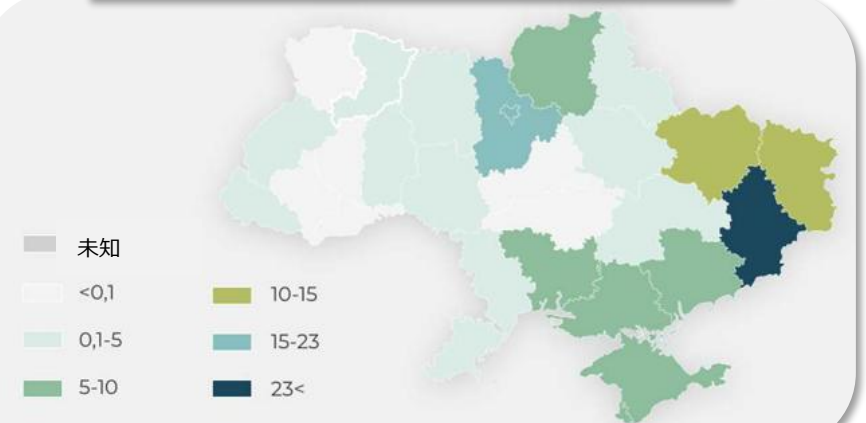
地域レベルで示したIDPS*マップ
(2024年2月現在)



破壊または損傷した住宅ユニット



住宅部門への被害状況、地域分布、%



*IDPS - Internally Displaced Persons 国内避難民

Source: Investment Opportunities of Building Materials Sector, Ukraine Invest 2024 https://ukraineinvest.gov.ua/wp-content/uploads/2024/12/building-materials-ukraineinvest_edited-1.pdf

ウクライナの建設部門の優位性

欧州ほか周辺市場への良好なアクセス

2,500マイル以内で**約10億人**の建設市場にアクセス可

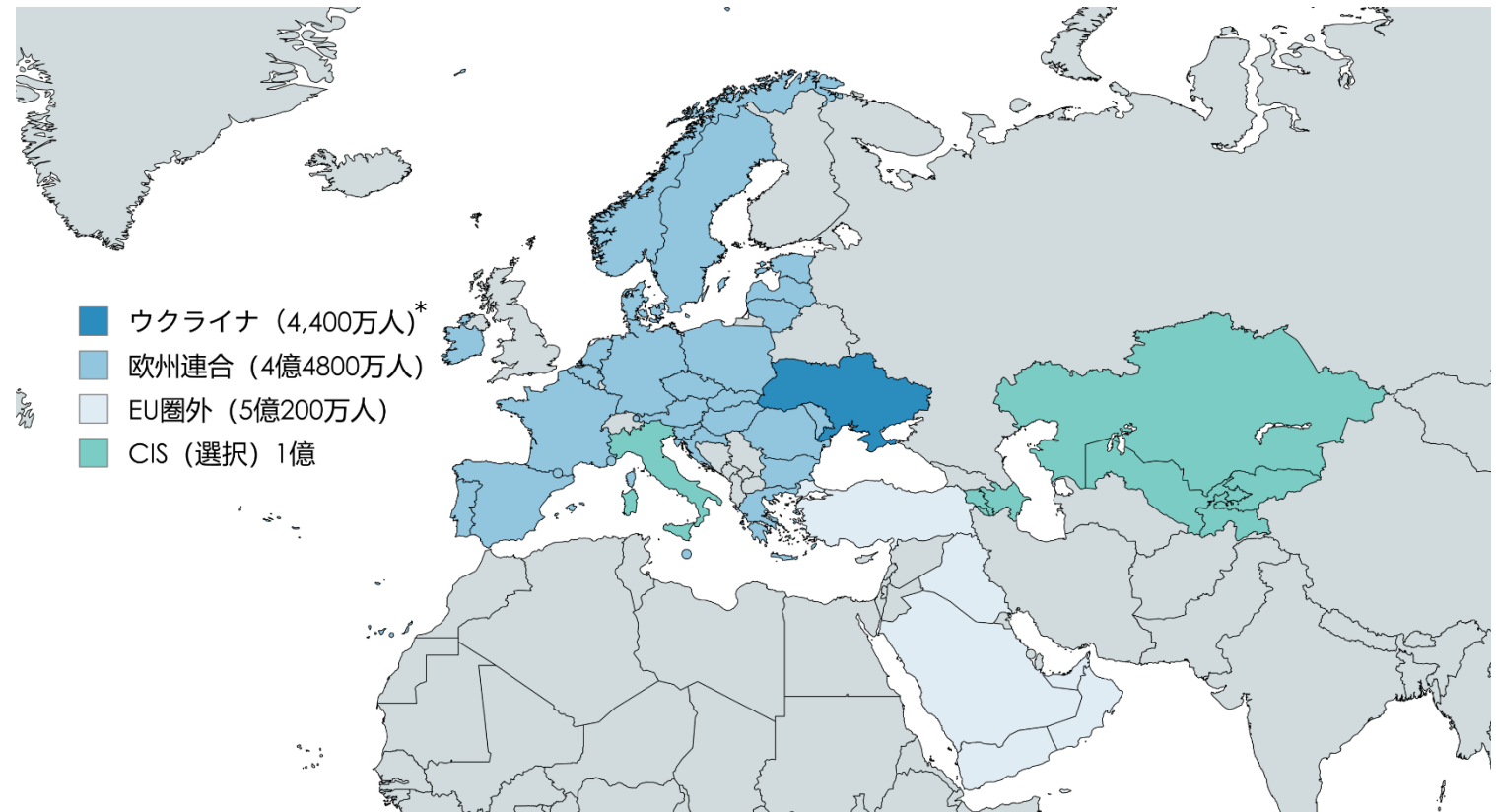
- ・ウクライナはEUとの**DCFTA**を含む47か国とFTAを締結している。
- ・ウクライナは**汎欧州地中海協定**の加盟国である。



【参考】

- **DCFTA**・・・EU（欧州連合）がウクライナ、モルドバ、ジョージアといった旧ソ連諸国と結んだ関税撤廃（FTA）に加え、EUの法規制や基準（ルール）の調和を通じて市場統合を深める「高度で包括的な自由貿易協定」
- **汎欧州地中海協定**・・・EU、欧州自由貿易連合（EFTA）諸国、および地中海沿岸国・地域間の貿易において、共通の原産地規則を定める国際条約

*現時点ではウクライナの人口に関する正確なデータではない。一部の情報源では、一時占領地域を除いて、**2024年**にウクライナには**3,300万人から3,400万人**が居住していると推定されている。



**World Bank as of 2021

- **セメント** (市場余剰260万～810万トン/年、2019～2023年)
- **砂** (リヴィウ地域から7,500トン以上の砂が採取、2018～2021)
- **レンガ** (市場余剰年間2億9,200万～5億8,500万台、2019～2023年)
- **コンクリート** (市場余剰年間1,500万～1,800万トン、2019～2023年)
- **気泡コンクリート** (モルドバ、ルーマニア、ハンガリー、チェコに輸出)
- **ガラス** (400万～810万立方メートル - 2025～2034年の年間予測需給ギャップ量)
- **金属** (最大のセクター、2023年：小規模消費者および小売業、建設、機械製造、冶金)
- **鋼鉄** (市場余剰量 年間950万～1,010万トン、ウクライナは世界で24位にランクされる鋼鉄生産国 (2021～2023年))
- **鉄筋** (2024年の鉄筋需要は2021年と比較して63%増加)
- **乾燥建築ミックス** (市場余剰量年間130万～140万トン、2019～2023年)
- **ミネラルウール** (2025～2034年における年間予測需給ギャップ量は2万2,000～25万6,000トン)
- **PVCプロファイル** (年間4万8,000～6万1,000トンの市場余剰、2019～2023年)
- **太陽光パネル** (2025～2034年の年間予測需給ギャップは204～989MW)

各セクターの詳細情報
(英語のみ)



現在ウクライナでは、板ガラスの生産は行われていない。また、他の 4 つの品目（コンクリート、セメント、ミネラルウール、PVC プロファイル）についても、回復フェーズ中で、供給力が予想される需要をカバーできていない状況。*

板ガラス

- ウクライナの復興期における板ガラスの需要は、少なくとも年間2,700万平方メートル、1億6,500万ドル（2022年価格）に達すると予想されている
- 戦後、ロシア連邦からのガラスの供給は停止し、需要はヨーロッパ諸国からの輸入によって賄われるようになった
- 一方、ウクライナは毎年30万～35万トンの高品質の砂を輸出しており、これは年間2,500万～3,000万平方メートルの板ガラスを生産するのに十分な量

セメント

- ウクライナには年間総生産能力1,300万トンのセメント工場が8つ稼働している
- 回復期のセメント需要は年間1,400万～1,500万トンと予想されるため、年間200万～300万トンの追加生産能力が必要な状況

コンクリート

- ウクライナには300社以上のコンクリート生産者があり、その総生産能力は年間約1,200万立方メートル。生産量の大部分はキーウの生産者6社で賄われており、その総生産能力は年間700万立方メートルに及ぶ。
- 復興期のコンクリート需要は年間2,100万～2,200万立方メートルと予想されており、必要な追加能力は年間900万～1,000万立方メートル

ミネラルウール

- ウクライナにはミネラルウール生産者が9社あり、総生産能力は年間約3,500万平方メートル
- 復興期におけるミネラルウールの需要は4,900万～5,000万平方メートルとの予測あり

PVCプロファイル

- ウクライナにはPVCプロファイル製造業者が14社あり、その総生産能力は年間10万トン、または年間3,000万線形メートル
- 2つの発電所の被害を考慮すると、能力不足は450万リニアメートル

Source: Investment Opportunities of Building Materials Sector, Ukraine Invest 2024 https://ukraineinvest.gov.ua/wp-content/uploads/2024/12/building-materials-ukraineinvest_edited-1.pdf

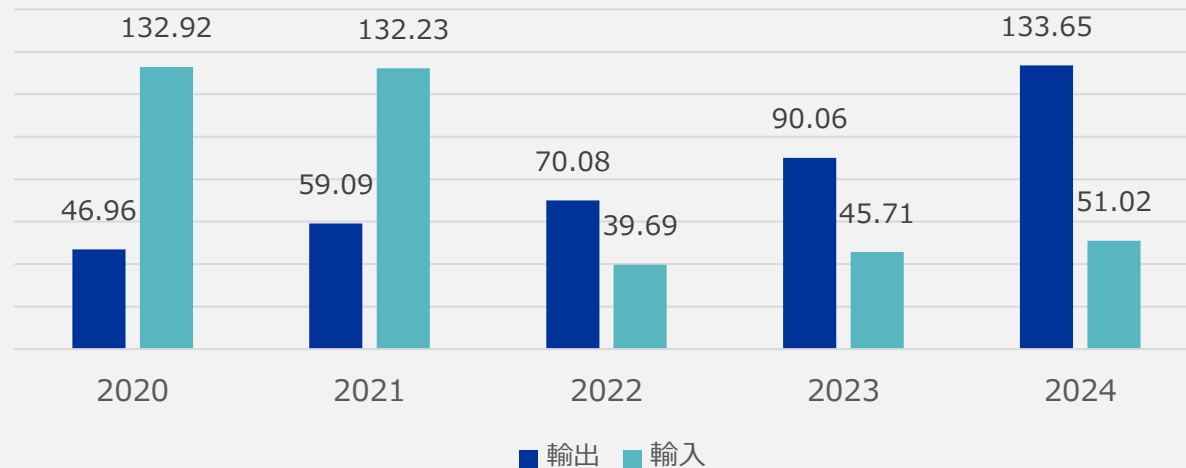
*KSE ウクライナ建設産業の構造変化と課題：分析と予測 https://kse.ua/wp-content/uploads/2024/09/02_09_24_Zvit_Strukturni_zmini_ta_vikliki_v_budivelnii--industrii--.pdf

ウクライナにおける復興の地域化 https://era-ukraine.org.ua/wp-content/uploads/2023/05/Ukraine-ERA-Reconstruction-Capacity-Report-BFO_web_ua.pdf

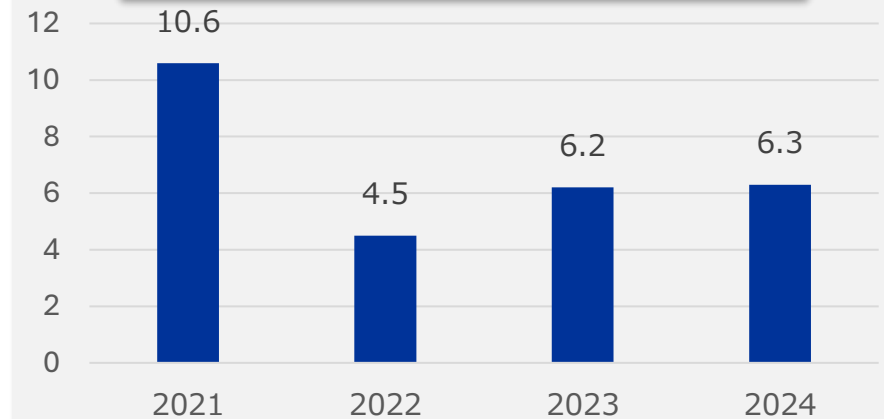
全体的に見ると、大規模な保全および修復プロジェクトは政府資金に依存している状況であり、また、現段階では、民間開発業者が完全な活動を再開できる状況にないことから、2023年におけるセメント消費量は減少している。

2024年、ウクライナの生産者は総生産量の約15%に相当する170万トンのセメントを輸出した。戦争が終わり本格的復興が始まると、国内セメント生産量はピーク時で最大1,200万トンに達することが見込まれる。（復興状況によっては海外からの輸入に頼らざるを得なくなる可能性も*）

セメント、コンクリート、または人工石製品の輸出入額、2020～2024年、
百万米ドル



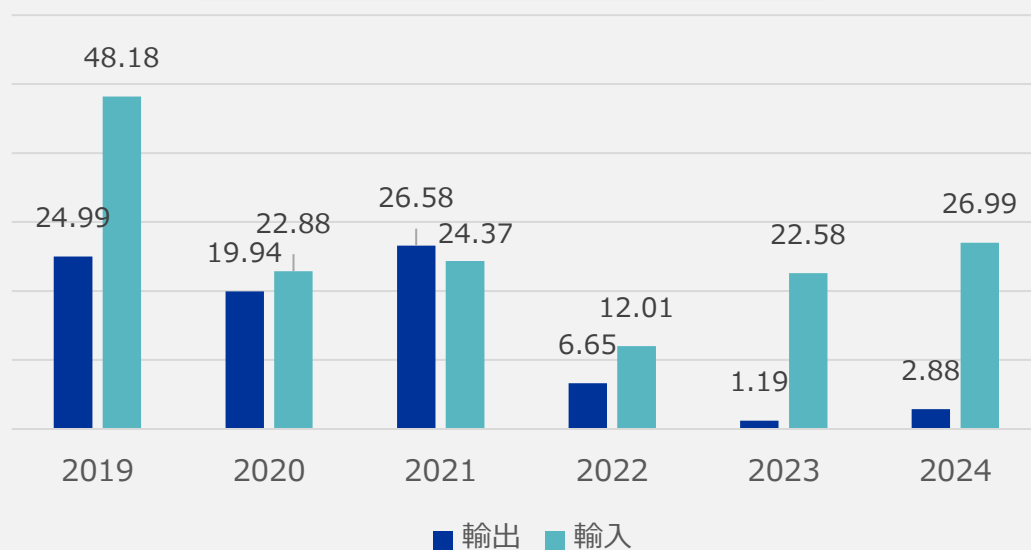
セメント、コンクリート、または人工石製品の消費量
(2021～2024年、百万トン)



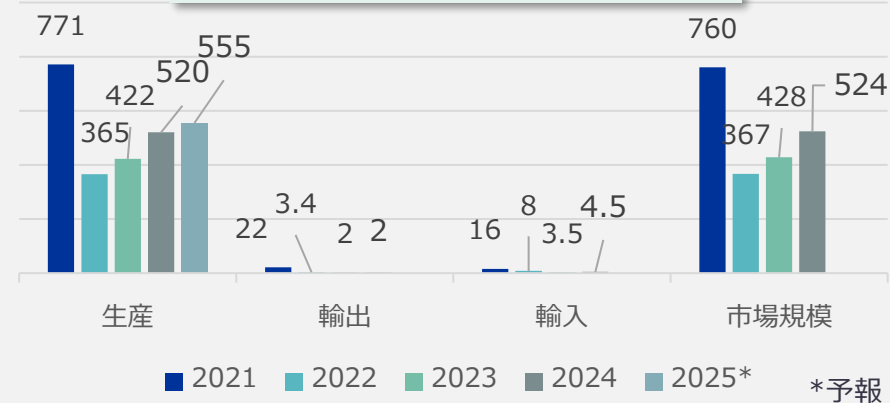
2025年の予測：

- 市場総量：5億3,500万～5億5,500万个
- ウクライナの生産者が全体の約90～95%を供給

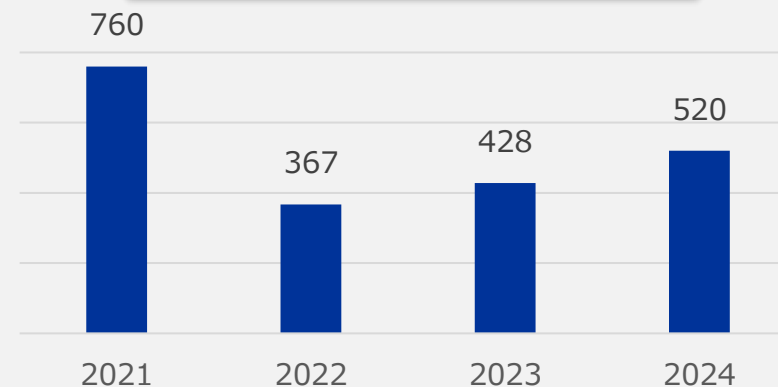
レンガの売上高、2019～2024年、百万米ドル



2021～2023年の生産量、輸出量、輸入量
(百万ユニット)

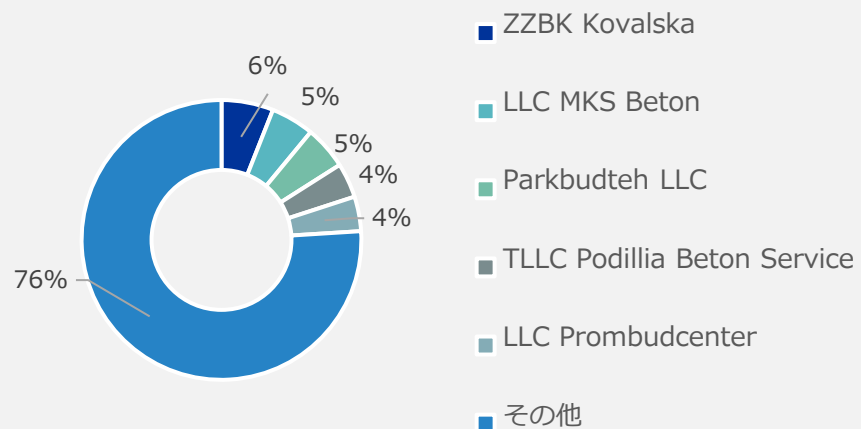


消費量 (2021～2023年、百万ユニット)

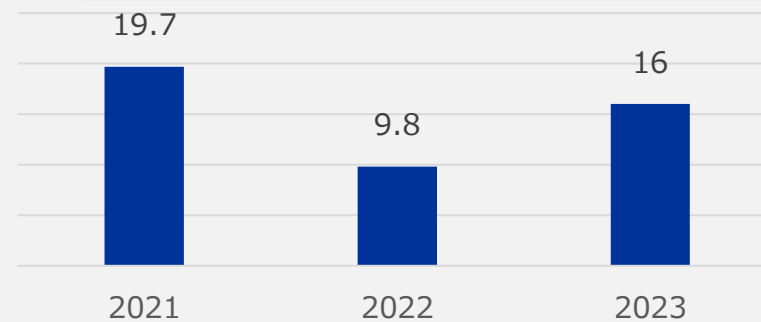


年間1,500万～1,800万トンのコンクリート市場、2021～2023年

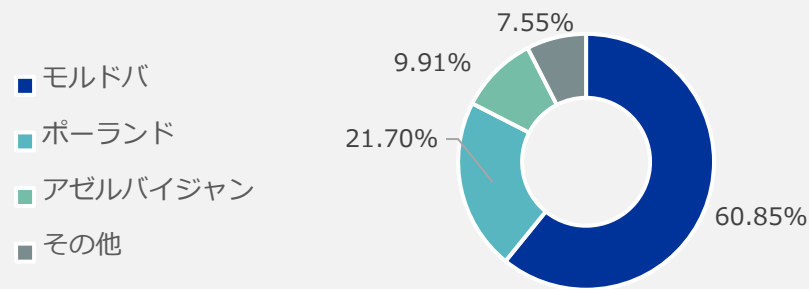
コンクリート市場の事業者シェア（2023年）



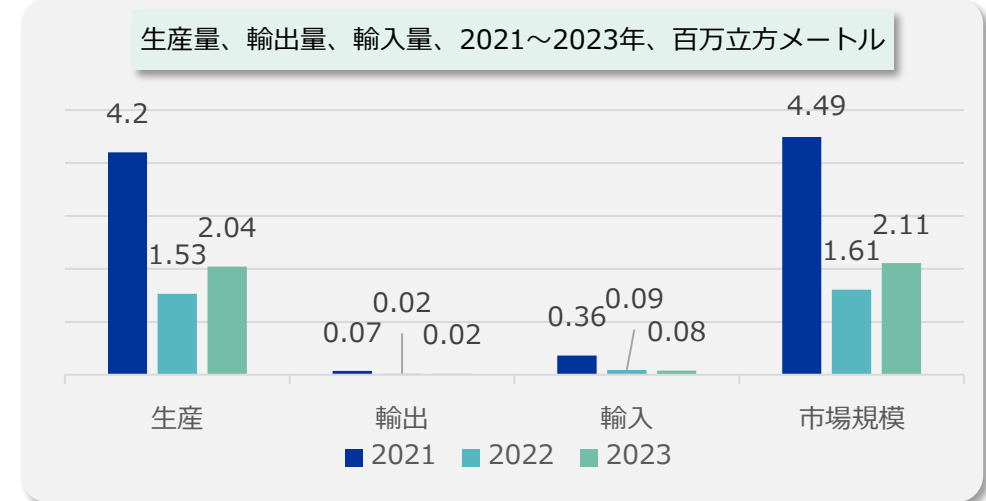
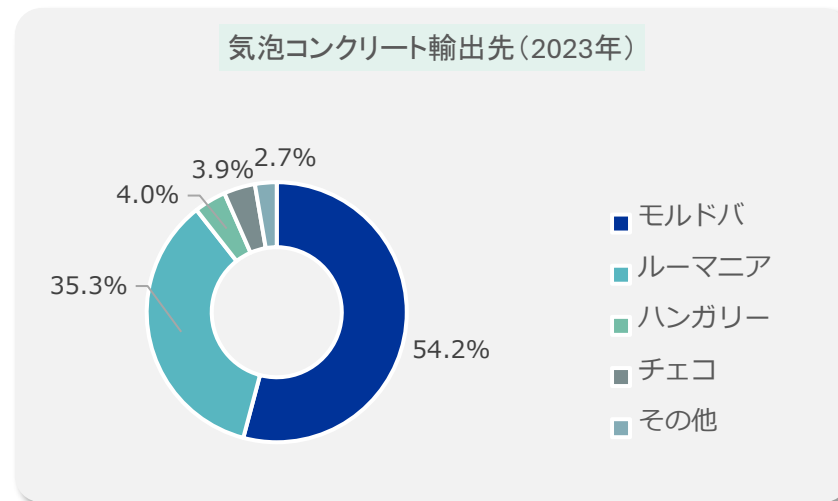
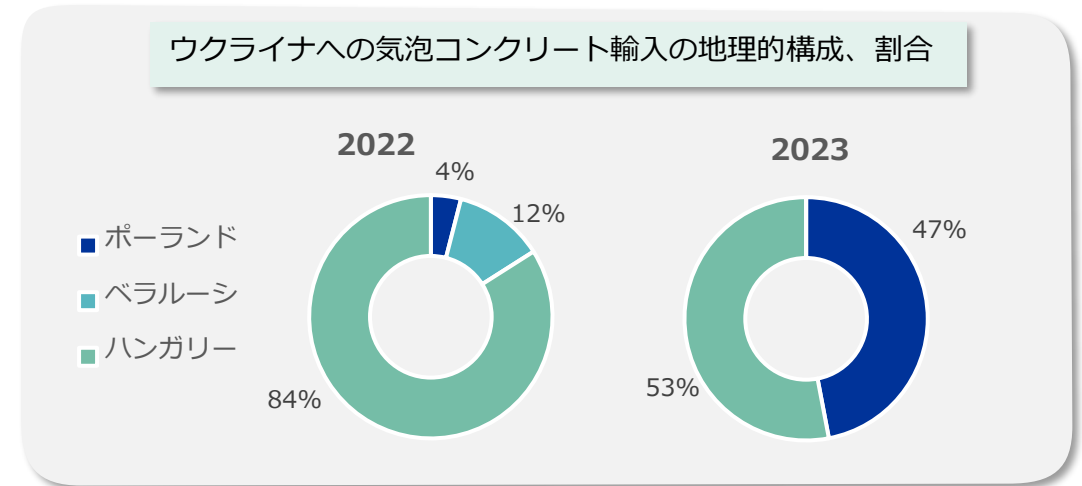
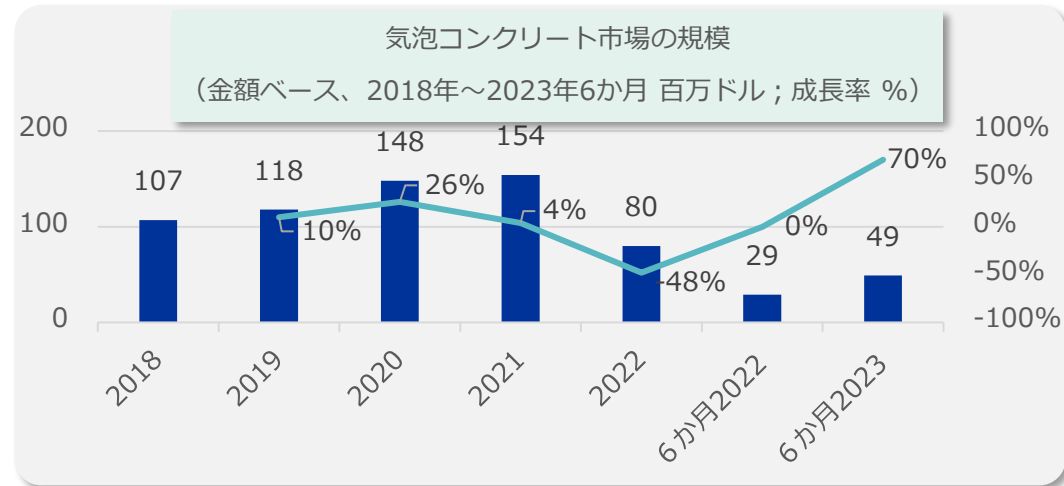
コンクリート消費量の推移（2021～2023年、百万トン）



コンクリート輸出先（2024年）



Source: Investment Opportunities of Building Materials Sector, Ukraine Invest 2024
https://ukraineinvest.gov.ua/wp-content/uploads/2024/12/building-materials-ukraineinvest_edited-1.pdf
<https://readymix.pro/rinok-betonu-v-2024>



気泡コンクリートを製造する主要なウクライナ企業：

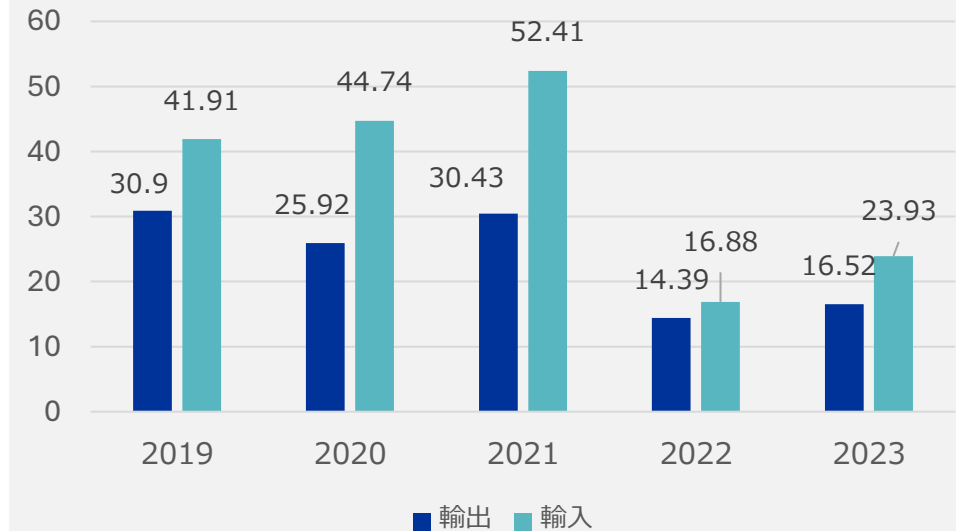
- LTD Orientir-Budelement
- Aeroc LLC "Energy product"
- Zavod KBM LTD
- Energy Product LLC

市場規模は2022年に大きく落ち込むも徐々に回復。

生産量、輸出量、輸入量、市場規模
2021～2024年、百万トン



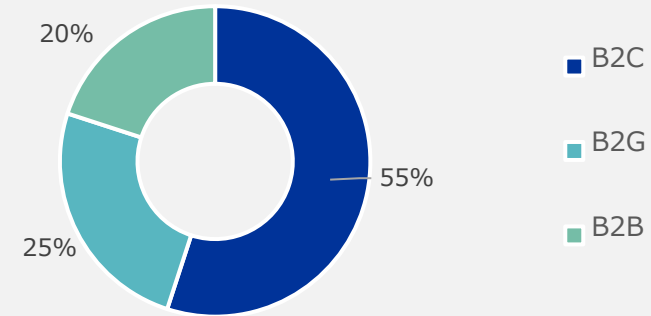
DBM売上高の推移 (2019～2023年、百万米ドル)



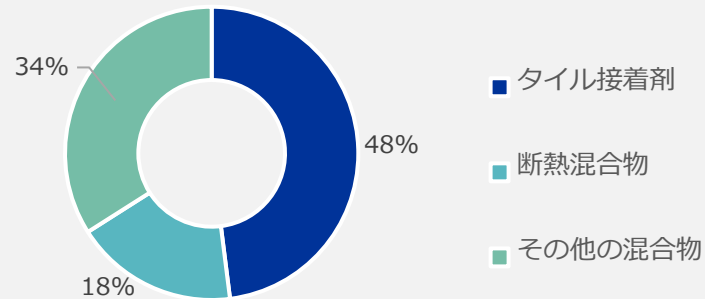
ウクライナのDBMマーケットリーダー：

- Knauf - ドイツ大手メーカー
- Ceresit - ヘンケルグループ会社
- Kreisel

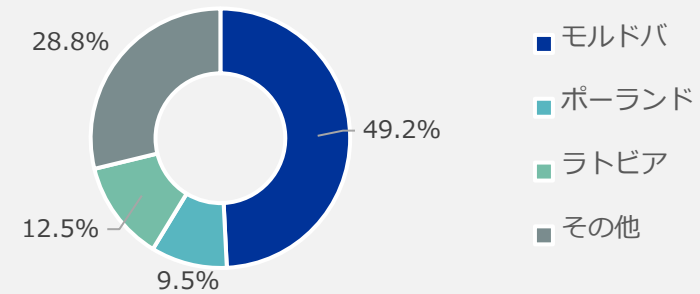
2023年のDBM市場構造（顧客層別、%）



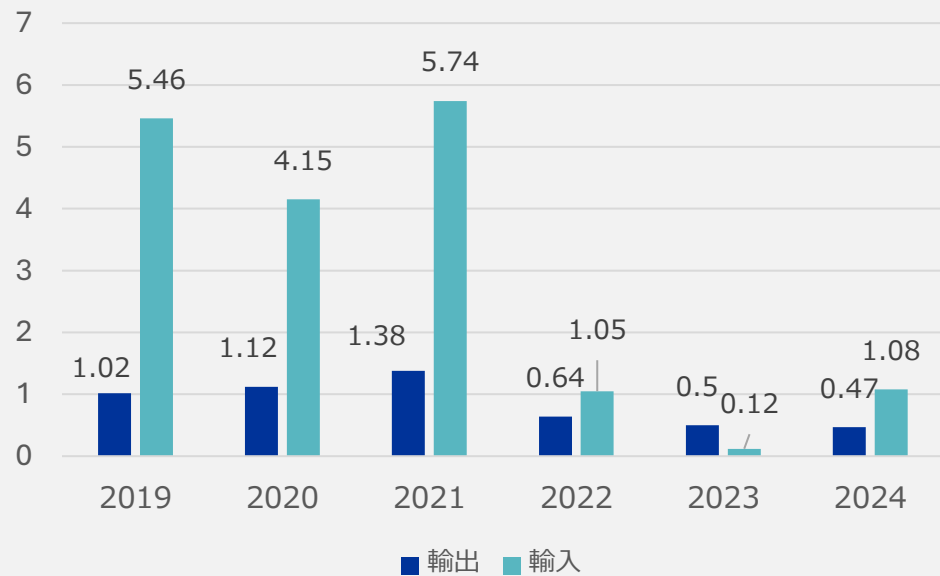
DBMの製品構成、2023年、%



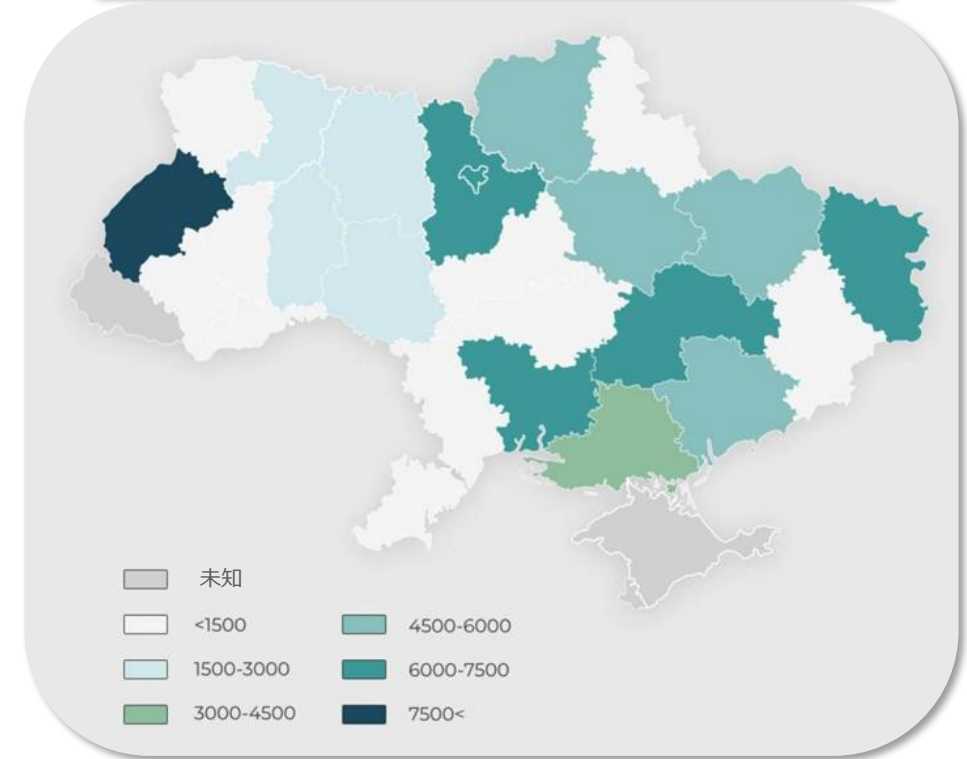
乾燥建築ミックスの輸出先
(2024年)



砂の貿易（金属含有砂を除く）、百万米ドル

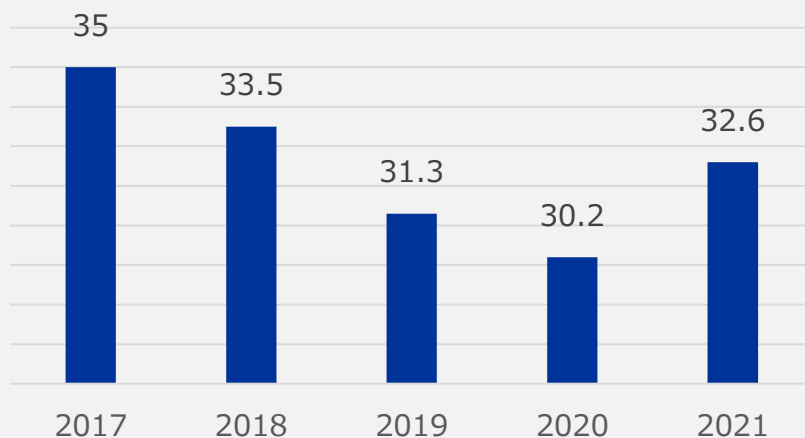


国内建設用砂採取地の状況 2021年上半期、千トン

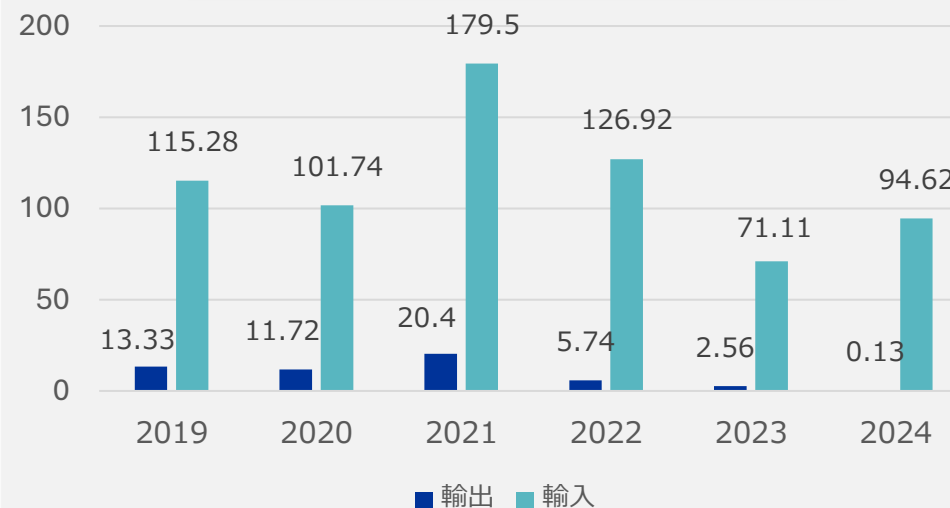


400万～810万立方メートル
(2025～2034年の年間予測不足量一見込み)

フロートガラスの販売量
(2017～2021年、百万平方メートル)



ガラスの輸出入額、2019～2024年、百万米ドル



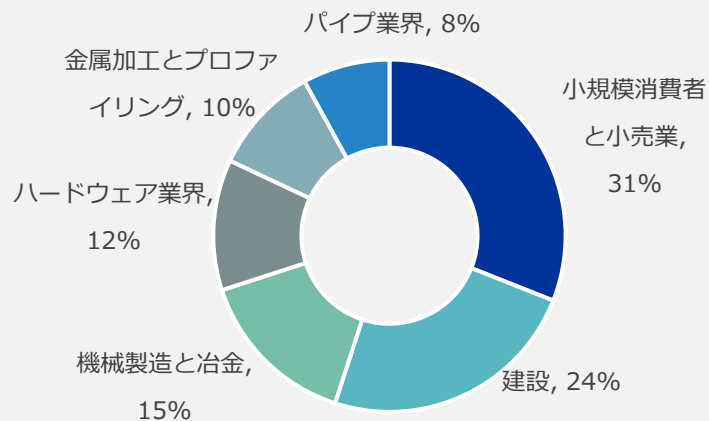
2025年12月現在、ウクライナには稼働中のガラス生産工場はない。

- ウクライナの企業、City One Developmentは、ウクライナ中部と西部に2つの工場を建設中（但し、稼働予定は早くても**2027年**）。
- 2025年9月、[NovaSklo](#)社は国際的な**Nippon Sheet Glass Group**と契約を締結。もう一つのパートナーは**ドイツのHORN Glass Industries**。投資家はウクライナの**EFI Group**。工場は**2028年までに**建設される予定だ。

Metinvest-SMCによると、2024年のウクライナの金属製品市場規模は、300万トン（ポリマーコーティング圧延製品、ステンレス圧延製品、ブリキを除く）と推定

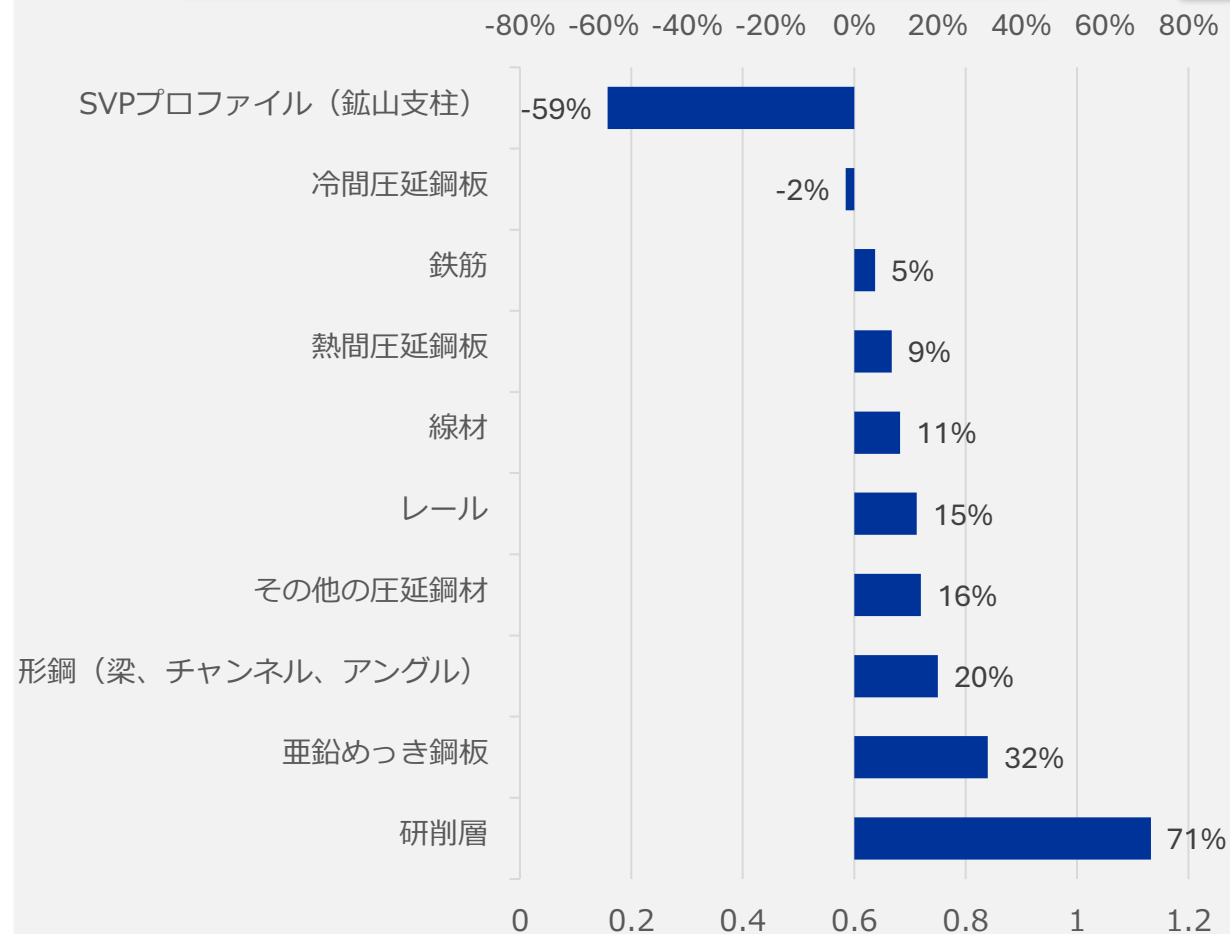
2024年の国内金属消費量は300万トンに達すると予想されており、2023年に比べて10%増加する見込み。

金属製品需要の業界別内訳、2023年、%



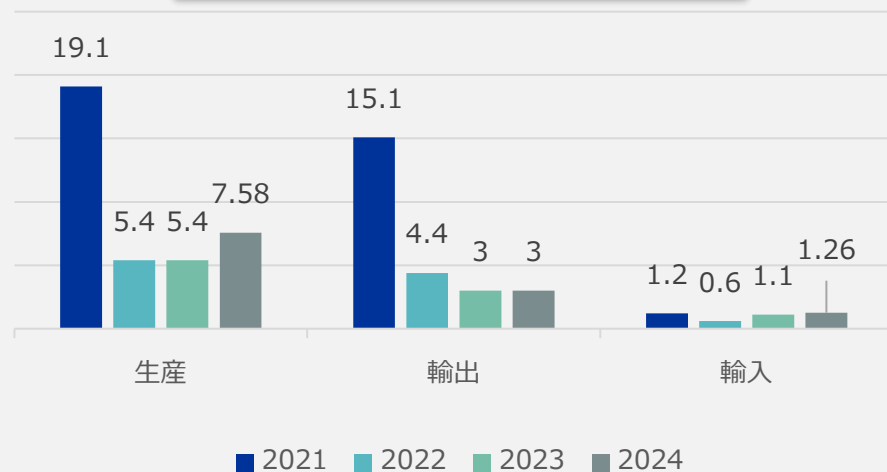
ウクライナの金属消費量（2024年、2023年と比較した増減率）

千トン

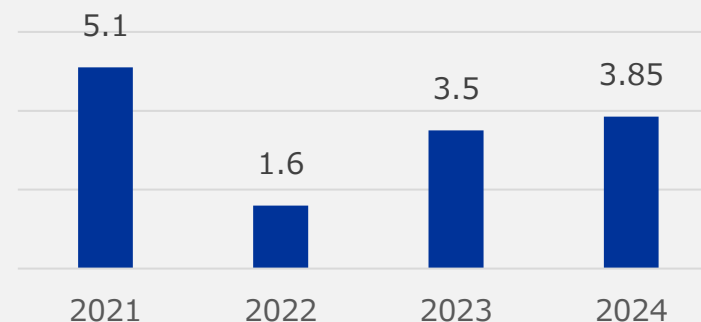


年間950万～1010万トンの市場余剰量（生産＞需要）

2021～2024年の生産量、輸出量、輸入量
（百万トン）



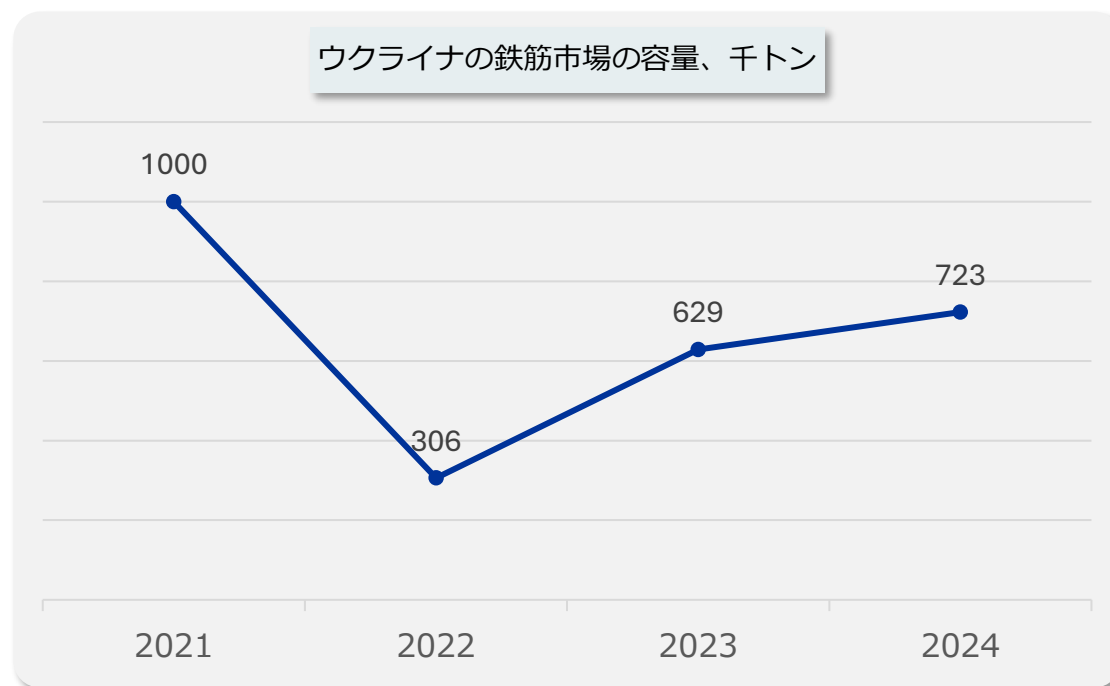
鉄鋼の消費量（2021～2024年、百万トン）



ウクライナは世界有数の鉄鋼生産国の中、**24位**（2023年）

《参考》 1位－中国、2位－インド、3位－日本

2024年上半期の鉄筋消費量は2023年上半期に比べ、25%増加*

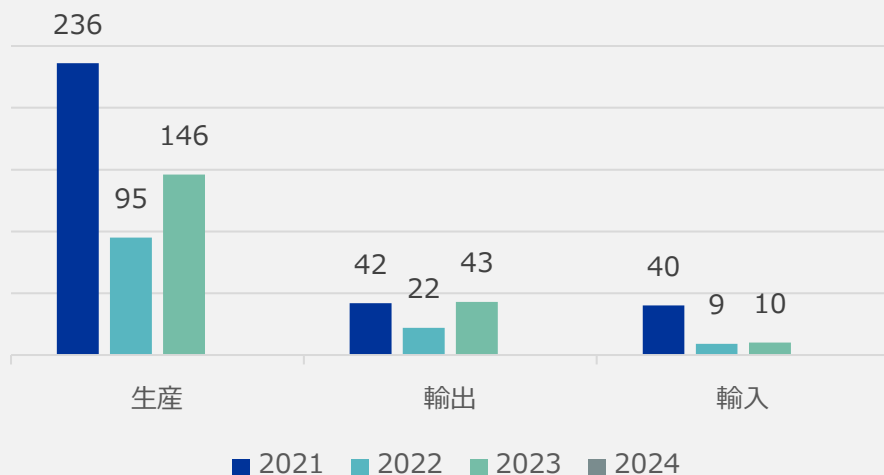


ウクライナの手鉄筋メーカー

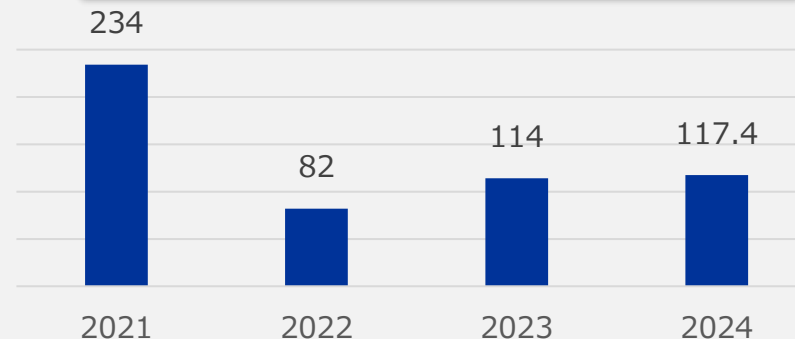
- Metinvest
- ArcelorMittal

2025～2034年における年間予測需給ギャップ量は
2万2,000～25万6,000トン

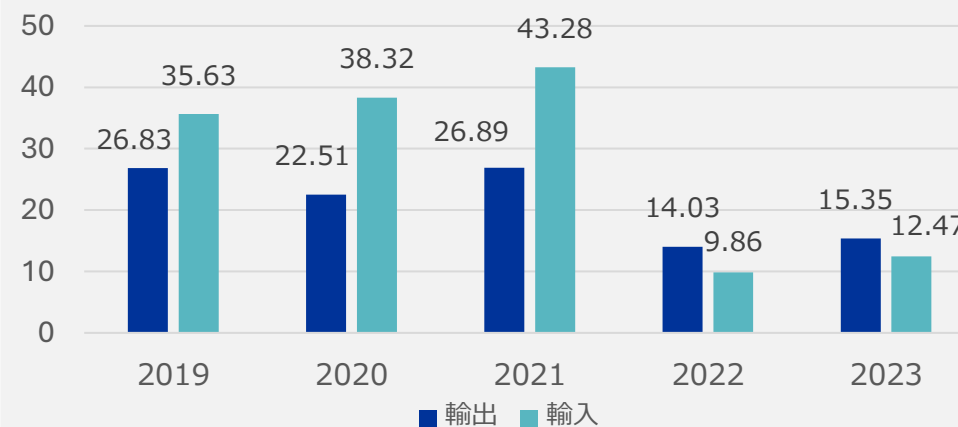
2021～2023年の生産量、輸出量、輸入量（百万トン）



ミネラルウール消費量（2021～2023年、百万トン）

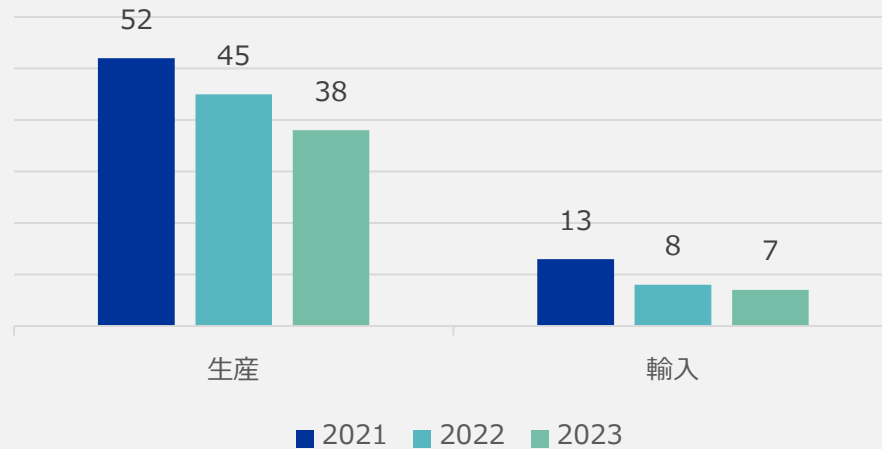


ミネラルウールの売上高（2019～2023年、百万米ドル）

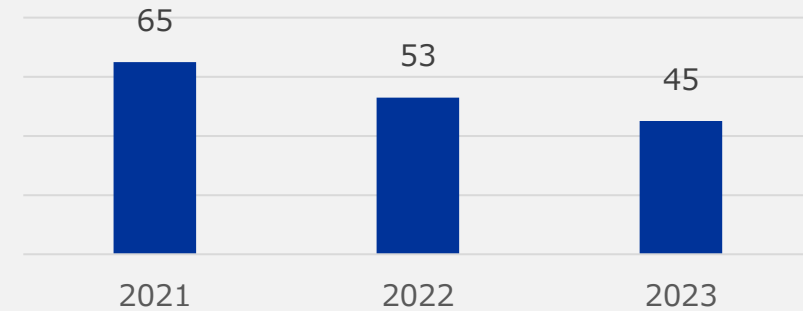


2019～2023年の年間予測需給ギャップ量は、
年間48～61千トン

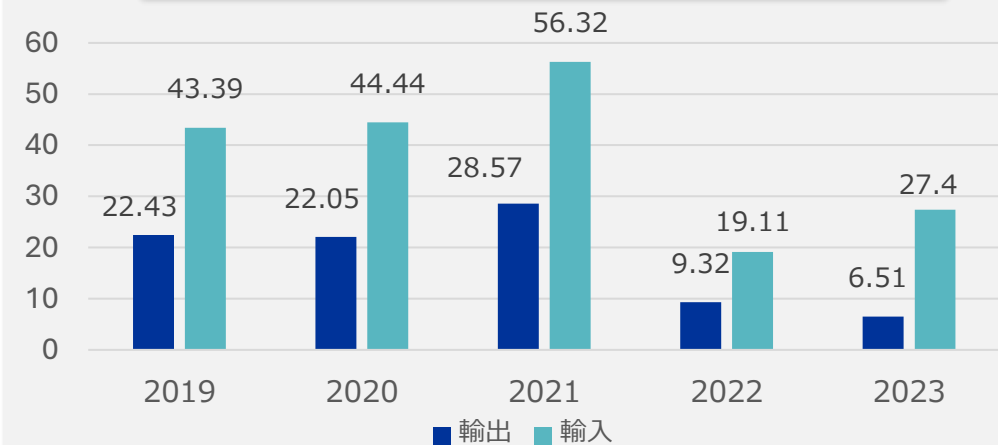
2021～2023年の生産量、輸入量（百万トン）



PVCプロファイル消費量（2021～2023年、百万トン）



PVCプロファイルの売上高（2019～2023年、百万米ドル）



2025～2034年 年間予測不足量(予測値) ⇒ **204～989MW**

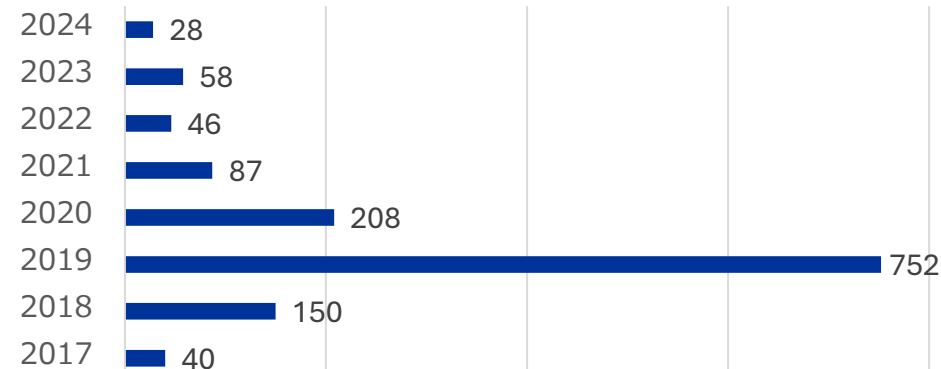
2024年時点で、ウクライナの太陽光発電所は、「グリーンエネルギー」生産量の約75%（但し、大規模水力発電所を除く）を占め。国内では現在1,400カ所の太陽光発電施設が稼働中。

ウクライナの日射量は1,100～1,500 kWh/m² と恵まれている。
⇒ 太陽光発電施設の建設に非常に適している。

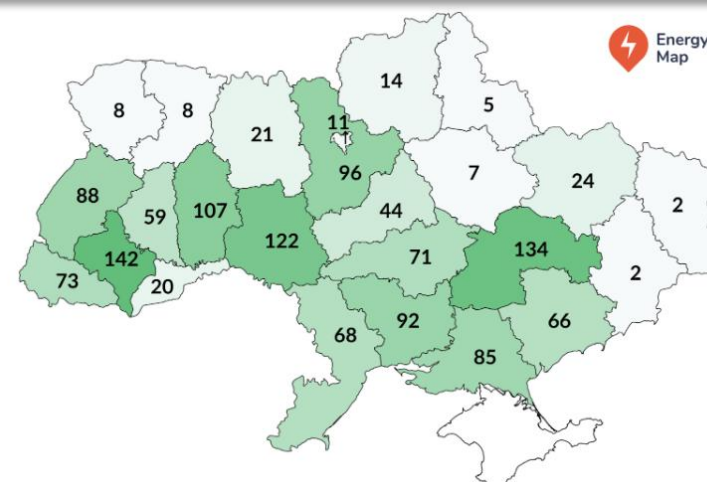
太陽光発電への支援：

- 多くの銀行がEBRD と協力しながら、融資・助成金プログラムを推進中。企業は「グリーン」エネルギープロジェクトの実施費用の最大20%まで助成を受けられる。
- EBRDは2025年に、個人向けの省エネローンに対してキャッシュバックを実施し。個人は、太陽光発電所やその他の機器の設置に対して、融資額の最大25%（優遇カテゴリーの場合）または最大15%（その他の場合）の補償を受ける。
- ウクライナには「グリーン」買取制度と呼ばれる特別な固定価格買取制度がある。風力発電または太陽光発電による余剰電力は国に売却できる。この買取価格はユーロ建てで固定されており、1kWあたり0.132ユーロ（2025年）と、欧州でも最高水準となっている。「グリーン」買取価格は毎年10%削減され、2030年1月1日に廃止される予定。その後は通常の固定価格買い取り制度となる。

2017年～2024年にかけての太陽光発電所の新規設置数



ウクライナの地域別太陽光発電所数（2024年4月）



Source: Investment Guide / Invest in Lviv 2023

https://city-adm.lviv.ua/public-information/offices/upravlinnia-investytsii-ta-proektiv/investytsiinyi-haid-invest-in-lviv/31860/download?cf_id=36

<https://ukraineinvest.gov.ua/industries/energy/alternative-energy/>

https://sun-energy.com.ua/news/tsiny-na-zelenyj-taryf-v-2025-rotsi-onovleno?srsid=AfmBOorv7t2tS-ZCAuGahBf9dEODPg3ujrHpZ98O43a2WySZMt4_w9MZ

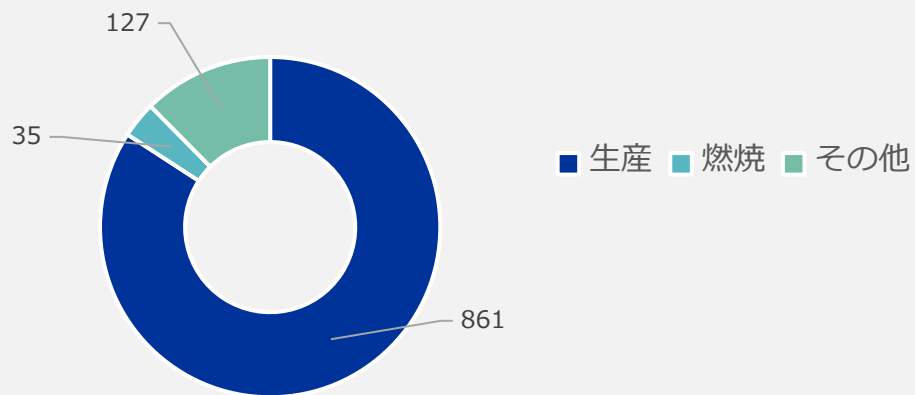
<https://epravda.com.ua/energetika/chogo-ochikuvati-na-rinku-sonyachnoji-energetiki-803508/>

<https://ua-energy.org/uk/posts/tryfonivska-ses-foto-dtek>

エネルギー効率化

建築資材分野の大・中規模企業が年間で削減できる総コストは、
1,100 万ドルに及ぶ見込み。

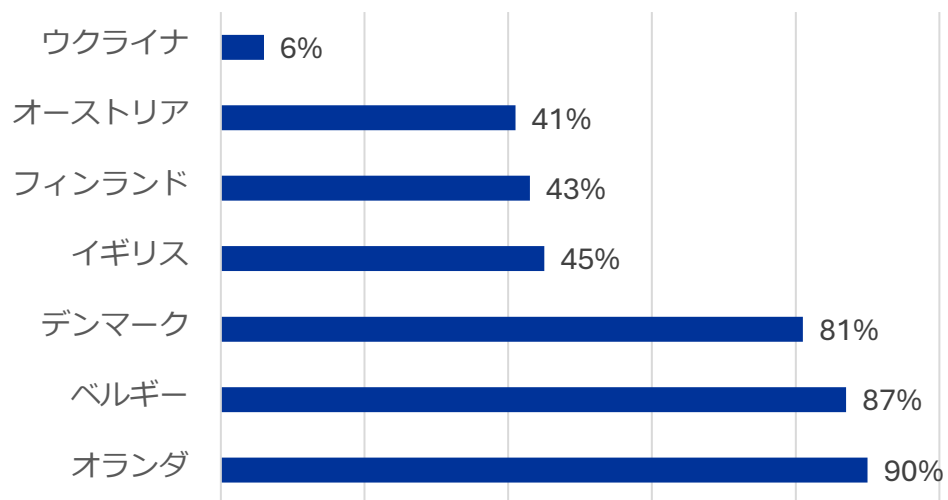
建材業界のエネルギー消費コスト、
1,000米ドル/年、2024



建設廃棄物のリサイクル

2023年末現在、ウクライナには破壊（砲撃を含む軍事行動による）によって生じた瓦礫が67万トン蓄積され、その大部分はコンクリートなどの建設廃棄物である。これらのリサイクル率の向上が大いに期待されている。

世界の建設資材リサイクル率、2023年



ウクライナでは、廃棄物リサイクル産業はまだ発展途上にある*。
建設廃棄物をリサイクルする企業はいくつかあるが、その数は非常に少なく、需要に追いついていない。

ウクライナにおける建設廃棄物リサイクルへの取り組み：

- [英国とオランダが資金提供している「ウクライナの安全で持続可能かつ迅速な復興」\(S3RoU\)](#)
- [イルピンとボロディアンカ（キーウ地域）におけるJICA廃棄物リサイクルプロジェクト](#)
- [フランスの企業Neo-Eco](#)
- テレシチェンコ（Tereshchenko）社
- [建設会社「フォレスト・ウクライナ」Forest Ukraine](#)

リサイクル法と政府の支援

建設廃棄物を規制する法律は右の2つ。詳しい情報はこちら！

(ウクライナ語のみ)

- 建設廃棄物は再利用およびリサイクルできるよう、適切な分別などを行う必要がある。
- こうした廃棄物の質量の少なくとも10%は2025年までにリサイクルされるべき、との政府方針あり。
- 決議 1073 には、廃棄物の処理、ターミナル、埋立地、建設における廃棄物の再利用方法など、廃棄物の分別および会計に関する要件が含まれている。

今後、廃棄物リサイクルの分野で政府による特別な支援が求められている。



ウクライナの廃棄物管理に関する法律



企業、機関、団体の廃棄物管理計画策定手順の承認に関する命令



Source: <https://www.ukrinform.ua/rubric-technology/3826490-pereroblenna-budivelnih-vidhodiv-vikliki-ta-mozlivosti-dla-ukraini.html>

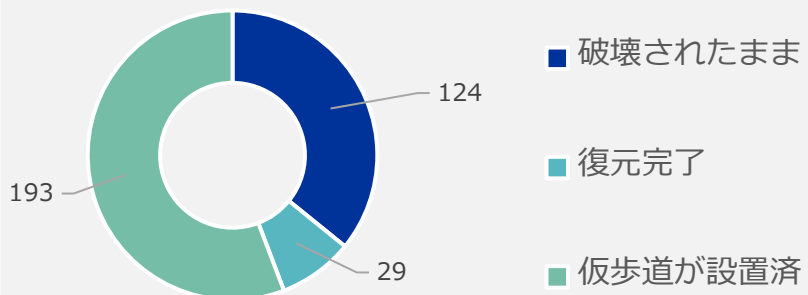
インフラプロジェクト

* 124の橋

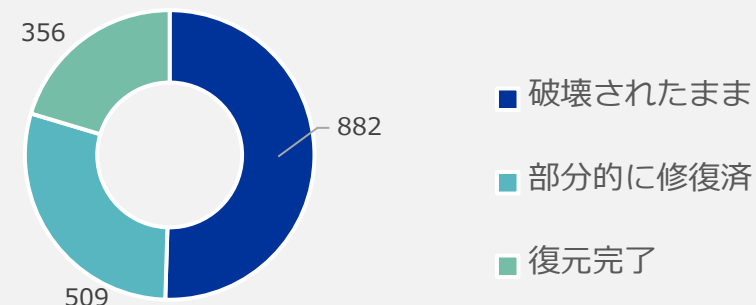
* 882の医療機関

が破壊され、復旧工事、修繕等が必要（2024年）

橋（2024年3月25日時点）



医療機関（2024年3月25日）

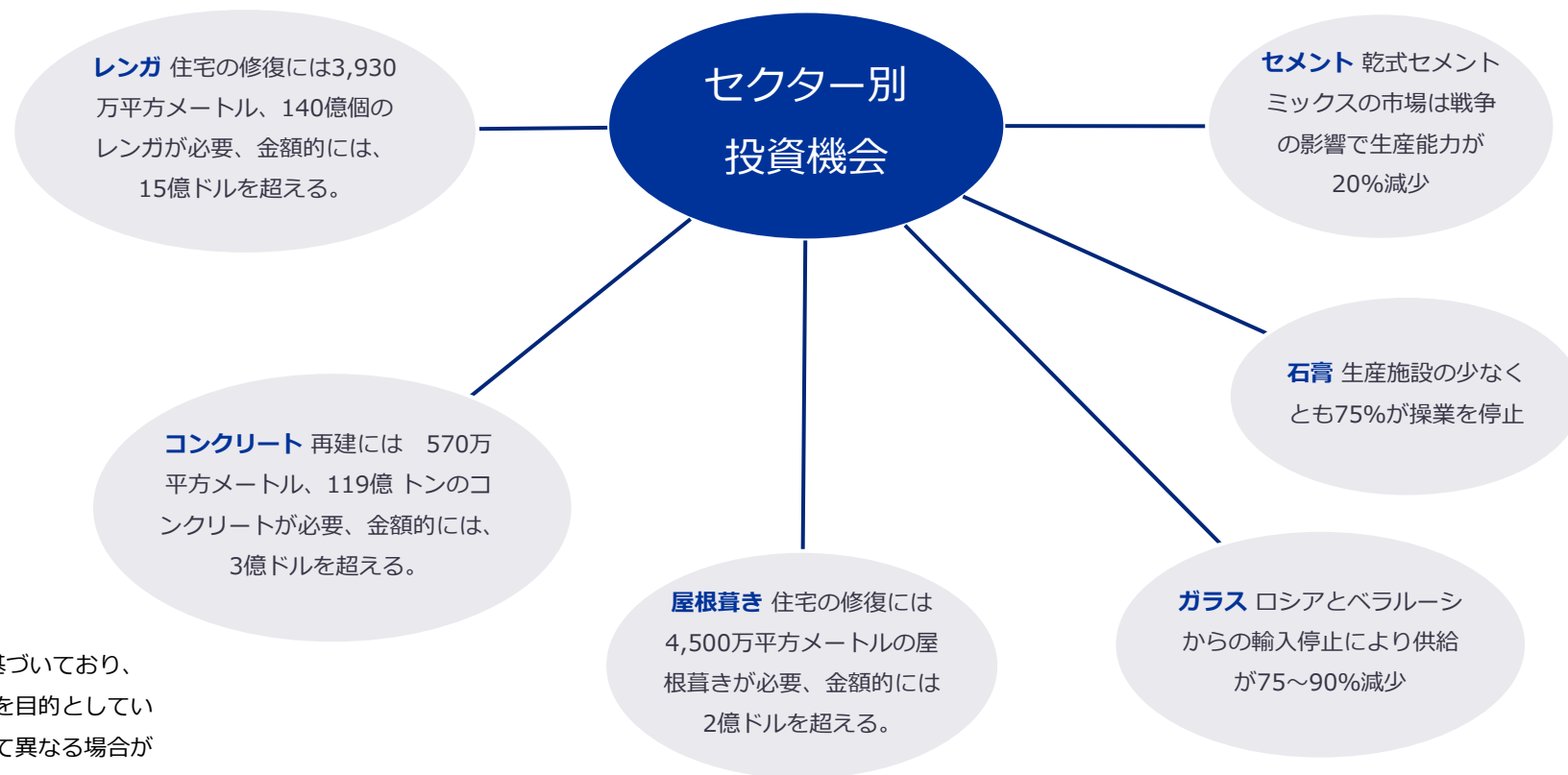


インパクト投資

インフラ施設の建設への投資は、経済回復に貢献するだけでなく、住民の生活水準を向上させ、新たな雇用を創出することにもつながる。

建設部門の生産能力の低下 ⇒ 復興投資ニーズ

建設資材の生産に携わる企業のうち、少なくとも15%が被災。



*計算は条件付きデータと仮定に基づいており、実際の断熱必要量を概算することを目的としている。各建物の具体的な条件によって異なる場合がある。2024年6月現在、1米ドルは41.10 UAH。

多様な投資ニーズとインセンティブ

投資プロジェクトの要件

- 1,200万ユーロ以上の投資
- 10名以上の新規雇用
- 最大5年間のプロジェクト実施
- 建物の建設または近代化、技術的および/または技術的な再装備

要件を満たす投資プロジェクトに対して供与される内容

法人所得税（CIT）免除
（選択により5年間）

新規機器、部品の
輸入付加価値税の
免除

新規機器および部
品の輸入関税の免
除

エンジニアリング、交通
インフラ（高速道路、通信
など）への 補助制度

土地の競売なしで
国有地等の賃貸可

物流ネットワーク
構築に関する補助
制度

土地税の免除・軽減

森林の損失に対する補償
の免除

多額の投資を行う投資家の
ためのガイド（英語のみ）



ガイド：多額の投資を伴う
投資プロジェクトに対する
国家支援（英語のみ）



サポート額はCAPEXの最大20%に達する可能性がある*

*サポート額には、税金免除および/または建設されたインフラに対する金銭的助成の受領および/または優先購入権を伴う特別な条件での土地区画の使用権の提供などが含まれる。

多額の投資を伴う投資プロジェクトに対する金銭的補償**

**多額の投資（1,200 万ユーロ以上）を伴う投資プロジェクトの場合、投資家は、国や地方自治体の決定によって投資家の権利が侵害された場合、その決定によって生じた損失の補償を受ける権利を有する。

ウクライナ全土に**100以上の工業団地**がある

マップは[こちら](#) (33ページ) →

製造プロジェクトに利用可能な2500ヘクタール以上の**工業用地指定地**



インセンティブを受けるための条件

当該会社は、以下の要件を満たす必要がある：

- ・ 工業団地の設立発起人
- ・ 管理会社
- ・ 工業団地の構成員（当該工業団地の土地を登記または取得し、管理会社と契約を締結している）
- ・ 工業団地のその他の主体（当該工業団地において事業活動を行っている）

工業団地の創設発起人、その管理会社

および参加者には、以下の優遇措置が

提供される：

10年間の法人所得税免除

エンジニアリング関連の新規機器輸入に対するVAT免除

工業団地の経済活動にかかる融資金利の一部補填

新規機器の輸入関税免除

対象産業

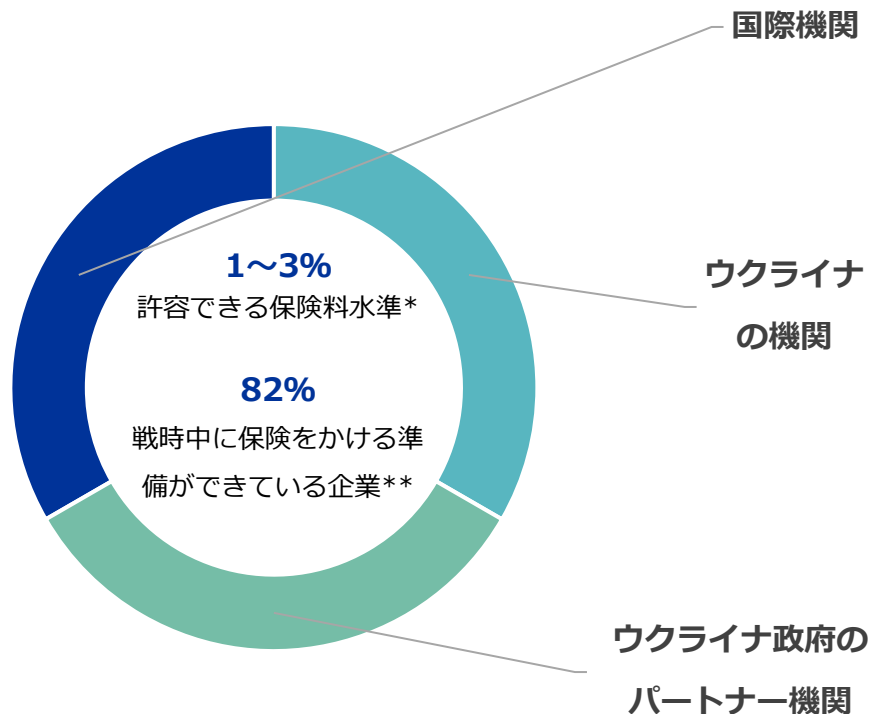
- ・ 物流インフラ
- ・ 教育機関
- ・ 消防署
- ・ 緑地
- ・ イベント用多目的ホール
- ・ 廃棄物管理施設
- ・ エンジニアリング用建物および構造物
- ・ 工業用、倉庫用建物および構造物
- ・ サイエンスパーク、革新的技術開発のための加速器、研究所

ガイド：工業団地に対する国の支援（英語のみ）



ガイド：工業団地の敷地内での大規模な投資を伴う投資プロジェクトの実施（英語のみ）





MIGA
(Multilateral
Investment
Guarantee
Agency)

外国投資に対する投資保険メカニズムの実施に関する正式合意：**2022年**
年率：**2~3%**
保険期間：**10年**
損失額の補償：**最大90%**

ECA (Export
Credit Agency)
ARX (ウクライ
ナの保険会社)

法律第9015号「ウクライナにおける軍事リスク向け投資保険に関する『輸出活動を促進するための金融メカニズム』関連法の改正について」：**2023年**
年率：**0.49~8.05%**
保険金額：**2億UAH**
2024年に5ヶ月間保険加入：**29億3000万UAH**
戦争リスクに対する財産保険：**2024年**
導入事例：**穀物倉庫**

ウクライナから輸出する
場合の保険

Marsh
Lloyd's
DFC U.S.
International
Development
Finance
Corporation
UK Export
Finance
PWC
SACE
bpi finance
KUKE

黒海船舶保険：**2023年**
穀物、鉄鉱石、鋼材、電気機器、飼料を積載したコンテナ
年率：**0.75%**
保険金額：**5,000万米ドル**

「ウクライナにおけるアメリカ、国際、ウクライナの投資に関する覚書」：**2023年**
損失額の補償範囲：**最大85%**
中小企業向け保険：**5,000万米ドル**
農業・製造業向け保険：**3億米ドル**

国際経済金融協力機関22社は、ウクライナで事業を展開したい外国企業の経済的リスクをカバーするための基金を創設するために、保険会社や政府と協力している：
ドイツ、西ドイツ、米国、日本、カナダなど。
集められた基金の規模：**10億ユーロ**

*この割合は、**MIGA** および**各国輸出信用機関 (ECA)** が提案する平均保険料率に基づいている。

数字はウクライナ国立銀行が実施した2022年の調査**に基づいている。

**Kingspan**

(建材製造会社)

- アイルランドの**キングスパングループ**は、ウクライナ西部に位置するリヴィウ市近郊に最先端の建築技術製造拠点を建設するため、2022年の侵攻後、欧州からの初めてとなる大規模投資を発表した。
- 新しい拠点は700人以上の雇用を創出すると予想されており、ウクライナの復興活動の一環として使用される高度な断熱材、エネルギー効率の高い建築材料製品、地域暖房ソリューションを製造する。

**Knauf**

(乾式壁およびドライミックスメーカー)

- ドイツの**クナウフ社**は、ウクライナ西部のテルノーポリ地方に、石膏ボードとドライ建築ミックスを生産する新工場の建設を開始した。
- 第二工場の設計生産能力は、年間3,000万平方メートルの石膏ボードと32万トンのドライミックスを生産する予定。プロジェクト総投資額は1億5,000万ユーロ。
- クナウフの最初の工場は2006年にキーウ地域に建設され、以来操業を続けている。キーウ工場の生産能力は、石膏ボード約2,500万平方メートルとドライミックス約20万トン。

Source: <https://www.kingspangroup.com/en/news-insights/kingspan-breaks-ground-on-building-technology-manufacturing-campus-in-ukraine/>
<https://ubn.news/german-company-knauf-is-investing-e150m-in-its-second-building-materials-plant-in-ukraine/>



Peikko Group Corporation

(コンクリート接合部および複合構造メーカー)

- 2025年4月、フィンランドの**Peikkoグループ**社は、ビーラ・ツェルクヴァにコンクリートジョイントおよび複合構造物の生産工場の建設を完了。
- 同社は設備輸入にあたり、工業団地参加者向けの税制・関税優遇措置を活用する方針（この措置により、機器輸入時に付加価値税および輸入税が免除される可能性あり）
- 新工場の開発に2年間で計画されている投資額は300万ユーロ、新たに約50人の雇用創出にも貢献する。



ITOXI Corp.

(ガラス製造業者)

- 2025年4月16日、ウクライナのCity One Development社と韓国の多角経営企業**ITOXI Corp.**が長期協力覚書を締結。
- 覚書では、プロジェクト実施の第一段階として、ガラスの街として有名な「キーウ州ベレザン」と「ハリツィア」（ウクライナ西部イヴァーノ＝フランキーウシク州カルシュ）の工業団地に2つのガラス製造工場を建設することが規定されている。
- このプロジェクトは、先端技術の導入、新規雇用の創出、そして高品質ガラス生産国としてのウクライナの地位向上の観点から、非常に重要なマイルストーンとなっている。

Source: <https://www.ukrinform.ua/rubric-economy/3985727-finskij-virobnik-betonnih-konstrukcij-vidkrivae-u-bilij-cerkvi-novij-zavod.html>
<https://www.itoxi.com.ua/en/city-one-development-%D1%82%D0%B0-itoxi-corp-%D0%BF%D1%96%D0%B4%D0%BF%D0%B8%D1%81%D0%B0%D0%BB%D0%B8-%D0%BC%D0%B5%D0%BC%D0%BE%D1%80%D0%B0%D0%BD%D0%B4%D1%83%D0%BC-%D0%BF%D1%80%D0%BE-%D1%81%D1%82%D1%80/>

その他の投資実績

建築資材の建設および生産における外国企業の投資:



- **Kronospan** はリウネ地域での OSB ボードの生産に 2 億ユーロを投資。



- アイルランドの建材メーカー **CRH** は戦時中にウクライナに 8,000 万ドルを投資。CRH のブランド **Cemark** はウクライナで事業を展開している。



- **Oberbeton**、テルノーピリ地域の鉄筋コンクリート建造物の生産工場に2,600万ドルを投資。



- フランスの**Saint-Gobain**グループは、ウクライナの建設用資材などの工場に1,100万ユーロを投資。

Source:

- Kronospan Rivne LLC https://kronospan.com/ua-UA/ajax/express_services/download?args%5B0%5D=express-services&args%5B1%5D=downloads&args%5B2%5D=Ukraine&args%5B3%5D=pdf&args%5B4%5D=redesign-pdf&args%5B5%5D=kronospan-in-ukraine-2021-2022-sustainability-report-final.pdf;
Kronospan Rivneの公式 Facebook ページ <https://www.facebook.com/share/p/1DEA3JZxUb/>
- Cemark (A CRH Company) <https://cemark.ua/en>, CRH's cement plant acquisition <https://www.cemnet.com/News/story/179938/ukraine-s-supreme-court-backs-crh-s-eur100m-cement-plant-acquisition.html>;
- テルノーピリ地方ミクリネツク共同体の長の公式声明 <https://www.facebook.com/mykulynecka.gromada/posts/pfbid0pq32sh7x6q487HSN4e4WJrM4MHUnMwhajwBcRuqNwycJakyk1r3H2iPUaHhHiGWGI> ;
- イヴァーノ・フランキーウシクの公式投資ポータル <https://invest.if.gov.ua/en/industries/budivelna-galuz>; Saint-Cobain Ukraine 公式Facebookページ <https://www.facebook.com/share/p/1EkPJjAFQn/>

【免責事項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。